

作物に対するアラゴナイト貝化石の使用効果

アラゴナイト貝化石は、**多孔質**で**溶けやすく**、**ミネラル豊富**という特徴を備えております。土壌、作物に対して次の様な効果が期待できます。

土壌通気性改善

- ・根の呼吸・成長が盛んになり、養分吸収が促進される。

カルシウム補給

- ・カルシウム補給と同時に三大要素(窒素、リン、カリ)の吸収を促進する。
- ・病気予防(トマト・ピーマン等の尻腐れ、ハクサイ・キャベツの芯・縁腐れ、ソラマメのしみ症等)

土壌pHの安定化 (中性ないし弱アルカリに保つ)

- ・ほとんどの作物が中性土壌を好むため、根の呼吸、養分吸収能が上昇する。
- ・土壌中のリンが速効性形態(H_2PO_4^-)になりやすい。
- ・酸性障害(AI)、鉄、マンガン、亜鉛の過剰障害になるにくい。

土壌微生物の繁殖促進

微生物により土壌有機物が分解され、作物が吸収できる形態の栄養源が生成される。

ミネラル補給

植物に必須なカリウム、マグネシウム、ホウ素、マンガン、鉄なども豊富に含んでいる。

種類別予想効果

◆果物・カンキツ類

- ・糖度が増す。
- ・色つやがよくなる
- ・日持ちが長くなる。

◆葉菜類

- ・連作障害の軽減につながる。
- ・灰汁、苦み等少なくなる。

◆根菜類

- ・土離れが良くなる(土壌がほくほく状態)。
- ・重くなる(細胞がしっかりする)。
- ・割れ、腐れが少なくなる。

◆きのこ類

- ・収量アップ
- ・ミネラル豊富になる
- ・菌まわりが早まる
- ・水きりが良くなる

◆米

- ・収量アップ
- ・食味値アップ (美味しくなる)

私のプロフィール



皆様、こんにちは。私は烏尼木仁(ウニムラン)と言います。中国内モンゴル自治区出身です。2008年3月に鹿児島大学大学院連合農学研究科にて農学博士号を取得しました。専門は植物栄養・肥料学です。

アラゴナイト貝化石(以下 貝化石)と出会ったのは6年前のことです。在学中に植物栽培試験などで土壌改良材として石灰をよく使っていましたが、たまたま大学にあった貝化石を石灰の代わりに使ってみたのがきっかけでした。

ポット栽培試験でピーマンを栽培してみたところ、味が良く、収量アップした上、日持ちも伸びたのです。びっくりした私は再度石灰との比較試験を行ってみましたが、やはり貝化石を使用した方が甘みが強く、収量も多かったです。成分的に石灰とほとんど変わらないのになぜ全く違う効果がでるのか不思議でした。

当時は学位を取得するため、貝化石の研究に時間をかけることはできませんでしたが、貝化石について是非いろいろ勉強したいという気持ちは強かったので、卒業後当社の門を叩き、入社させていただきました。あれからもうすぐ4年になりますが、なぜ貝化石が作物に良い効果を発揮するのかある程度分かってきました。まず、前のページに示した通り、ミネラル豊富で多孔質な構造及び土壌pHを持続的に安定化できるのが、植物がストレスなく成長するのに大きな役割を果たしていると思います。また、生きていた貝類などが吸収した様々な養分がそのまま溶出してくるので植物に対してもバランスの良い栄養源になっていると考えます。そして、まだまだ分からないところが多くありますが、何十万年前の生き物だったからこそ大きな力をもっているような気がします。

現在、アラゴナイト貝化石は農業分野以外に、水産(飼料添加材、水質底質改良剤)、畜産(飼料添加材、堆肥発酵促進材)、環境(環境に優しい無機系凝集剤として)分野でも活用されており、良い結果が得られています。土壌本来の地力を十分に引き出してくれる、もってこいの土壌改良材です。100%天然鉱物で、もちろん有機栽培に応用できるので皆様の拘りの商品づくりに役立つと思います。

まめ知識

- ・貝化石は様々な菌/酵素との相性がよく、相乗効果が大きい。
- ・金魚・めだかなどの水槽などにいれておけば、水が長くきれいに保たれます。

お客様相談窓口

アラゴファームに関するご相談は下記宛までお願い致します。

所属: (株)ガイアテック 吉田工場 農学博士 烏尼木仁(ウニムラン)
住所: 〒891-1301 鹿児島市西佐多町4364
連絡先: 電話:099-245-5111 FAX:099-245-5100 携帯:

080-5604-8286